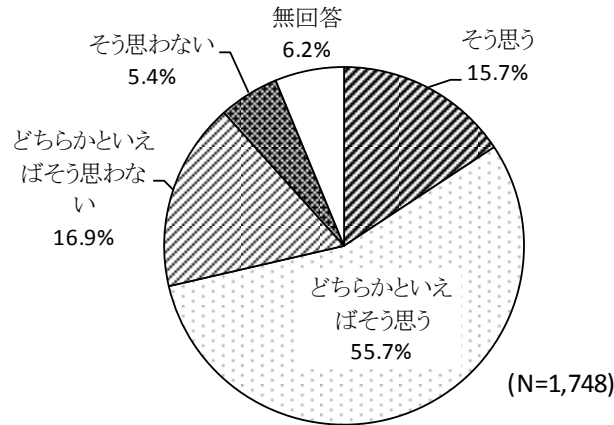


## 第5章 子育て環境

### 5-1 子育てのしやすさ

久留米市を子育てしやすいまちだと思える人は71.4%。  
30歳代では、子育てしやすいと思う人は64.9%とやや低い。

問18 あなたは、久留米市のことを子育てしやすいまちだと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



#### ◆属性別特徴

- 【性別】「思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』割合は女性74.5%に対して男性67.8%と、女性が6.7ポイント高い。
- 【年齢別】『思う』は30歳代で64.9%と最も低い。「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『思わない』は20・30歳代で3割前後と高くなっている。
- 【ブロック別】『思う』は東部Bで8割弱と高く、中央東部、西部Aでそれぞれ6割半ばと低い。特に西部Aでは「そう思う」割合が6.7%と1割に満たず最も低い。
- 【子どもの状況別】『思う』は就学前の子どもがいる世帯でやや高く、『思わない』割合は中学生がいる世帯や上記以外の18歳未満の子どもがいる世帯でやや高くなっている。

#### ●久留米市を子育てしやすいまちだと思える主な理由(合計380件)

子育てしやすいという理由として、全体では380件の意見があげられた。

主な意見としては、「医療機関が充実している」や「子育て支援が充実している」「自然が豊か」「教育環境が良い」「保育所・幼稚園が充実している」等があがっている。

子育てしやすいまちだと思える主な理由	件数
・医療機関が充実している	57
・子育て支援が充実している(子育て支援センター、子育てサロン、くるるん、育児訪問、就学援助、学童保育、乳幼児医療等)	41
・自然が豊か	36
・教育環境がよい(学校が多い、近い、教育水準が高い等)	31
・保育所・幼稚園が充実している(待機児童が少ない、保育園に入りやすい)	29
・住環境がよい	18
・地域の協力がある(仲がいい、見守り、登下校時のパトロール等)	17
・施設が充実している(児童館、図書館、文化センター、美術館、青少年科学館、スポーツセンター等)	15
・公園が充実している	12
・都会すぎず田舎すぎず	11
・交通の利便性	10

●子育てしやすいまちだと思わない主な理由(合計 190 件)

子育てしやすいまちだと思わない理由としては、全体では 190 件の意見があげられた。

主な意見としては、「安全に不安がある」や「子育て支援が不十分」「教育環境が充実していない」「保育所・幼稚園が充実していない」等良いと思う理由にあげられたものが良くない理由としてもあがっている。

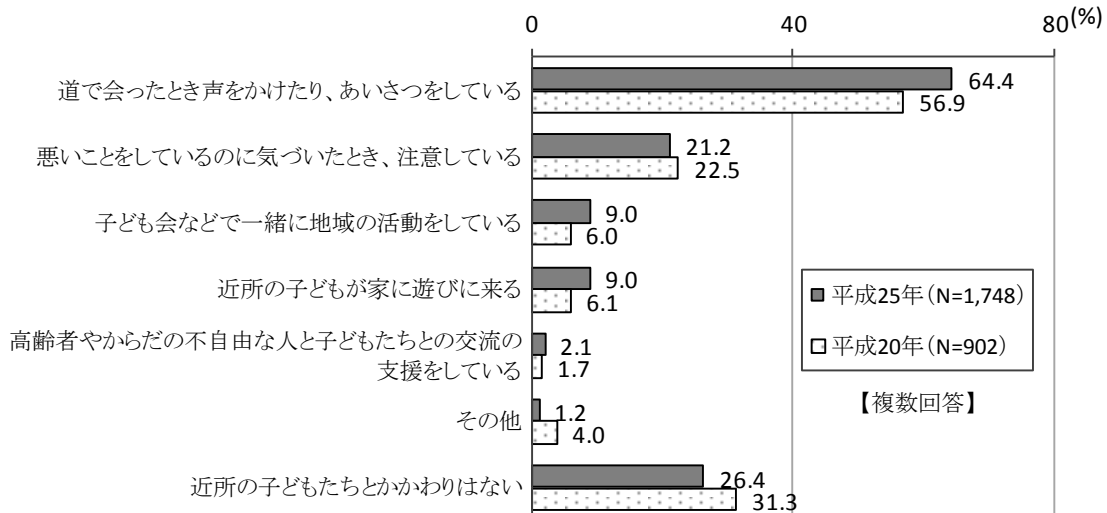
久留米市を子育てしやすいまちだと思わない主な理由	件数
・安全に不安がある(通学路が危険、歩道の整備、街灯がない、治安が悪い等)	34
・子育て支援が不十分(仕事と子育ての両立支援、学童保育、乳幼児期の母子のケア、授乳設備等)	21
・教育環境が充実していない(小学校が少ない、設備、少人数制ではない、学力、教員の質等)	19
・幼稚園、保育園の整備(少ない、保育料が高い、待機児童、病児保育等)	18
・公園の整備が不十分(公園が少ない、整備されていない、遊具が少ない)	16
・子どもが自由に遊ぶ場がない(児童館、雨の日の遊び場等)	12
・医療費の負担が多い	11
・情報発信が不十分(支援について)	6
・人間的な触れ合いが少ない(高齢者等との)	4
・交通の便が悪い	3
・地域の支えが不足している	3
・屋外でのびのび遊ぶ子どもが少ない	3

	標本数(票)	久留米市は子育てしやすいまちだと思うか(%)						
		そう思う	ばどそう思うかといえ	ばどそうかわらない	そう思わない	無回答	『思う』	『思わない』
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,748)	15.7 ( 275)	55.7 ( 973)	16.9 ( 296)	5.4 ( 95)	6.2 ( 109)	71.4 (1,248)	22.3 ( 391)
性別								
男性	818	15.5	52.3	18.2	7.9	6.0	67.8	26.1
女性	930	15.9	58.6	15.8	3.2	6.5	74.5	19.0
年齢別								
20歳代	225	11.6	56.9	21.8	6.2	3.6	68.5	28.0
30歳代	276	12.0	52.9	23.2	8.3	3.6	64.9	31.5
40歳代	323	13.9	60.4	17.0	7.1	1.5	74.3	24.1
50歳代	315	19.7	55.2	14.9	3.8	6.3	74.9	18.7
60歳代	382	17.8	56.3	14.1	2.9	8.9	74.1	17.0
70歳以上	227	18.1	50.7	11.9	5.3	14.1	68.8	17.2
ブロック別								
東部A	116	11.2	63.8	14.7	3.4	6.9	75.0	18.1
東部B(田主丸)	114	19.3	58.8	11.4	4.4	6.1	78.1	15.8
北部A	164	17.7	56.7	14.6	8.5	2.4	74.4	23.1
北部B(北野)	120	18.3	55.8	12.5	6.7	6.7	74.1	19.2
中央東部	215	14.9	50.2	19.5	7.0	8.4	65.1	26.5
南東部	172	17.4	53.5	19.2	4.7	5.2	70.9	23.9
中央部	222	21.6	48.2	18.9	4.1	7.2	69.8	23.0
中央南部	302	12.3	58.3	18.9	5.3	5.3	70.6	24.2
南西部	155	16.1	56.8	18.7	3.9	4.5	72.9	22.6
西部A(城島)	75	6.7	60.0	16.0	6.7	10.7	66.7	22.7
西部B(三瀬)	93	12.9	60.2	12.9	5.4	8.6	73.1	18.3
子ども状況別								
世帯の中に就学前の子どもがいる	251	17.5	57.4	17.5	6.0	1.6	74.9	23.5
世帯の中に小学生がいる	215	12.6	59.1	18.6	7.0	2.8	71.7	25.6
世帯の中に中学生がいる	171	15.8	55.6	22.2	5.3	1.2	71.4	27.5
世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	176	21.0	50.6	21.0	6.8	0.6	71.6	27.8
18歳未満の子どもはいない	1,159	14.8	56.1	15.6	4.9	8.5	70.9	20.5
無回答	15	20.0	60.0	13.3	6.7	-	80.0	20.0

## 5-2 近所の子どもとの接し方

「道で会ったとき声をかけたり、あいさつをしている」64.4%と最も高くなっている。次いで「悪いことをしているのに気づいたとき、注意している」は21.2%。

問19 あなたは、ふだん、近所の子どもたちとどのように接していますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



### ◆属性別特徴

【性別】「道で会ったとき声をかけたり、あいさつをしている」は女性の方が高い。

#### 【性別・年齢別】

- ・「道で会ったとき声をかけたり、あいさつをしている」は男女ともに20歳代で特に低く、年齢が上がるほど割合も高くなる傾向にある。また、20歳代では「近所の子どもたちとかかわりはない」が男性58.9%、女性54.2%で他の年齢に比べて特に高い。
- ・「悪いことをしているのに気づいたとき、注意している」は60歳以上の男性で高く、「子ども会などで一緒に地域の活動をしている」は男女ともに40歳代で高くなっている。
- ・「近所の子どもが家に遊びに来る」は男女ともに30歳代、40歳代でそれぞれ高くなっている。

#### 【ブロック別】

- ・「道で会ったとき声をかけたり、あいさつをしている」は東部B、北部Bで高く、中央南部、中央東部で低い。
- ・「悪いことをしているのに気づいたとき、注意している」は南西部、南東部、東部Bで高く、西部Bで特に低い。
- ・「近所の子どもが家に遊びに来る」は西部Aや南西部で高い。
- ・「近所の子どもたちとかかわりはない」は中央東部、中央南部でそれぞれ3割台と高く、東部B、北部B、西部Aでそれぞれ1割台と低い。

【子どもの状況別】「道で会ったとき声をかけたり、あいさつをしている」は中学生までの子どものいる世帯で8割近くと高くなっている。「子ども会などで一緒に地域の活動をしている」と「近所の子どもが家に遊びに来る」は小学生の子どもがいる世帯で割合が高い。一方で「近所の子どもたちとかかわりはない」は18歳未満の子どもがいない世帯で3割を超えている。

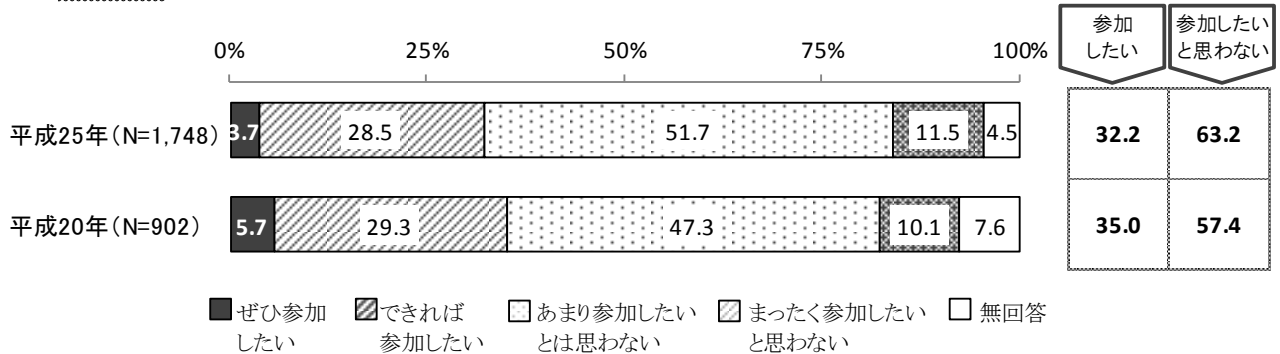
	標本数(票)	近所の子どもの接し方 (%)									
		るた 道で あり、 あつ いた さつ を し て い け	域 の 活 動 を し て い る	子 ど も 会 な ど で 一 緒 に 地	流 の 支 援 を し て い る	高 年 者 や か ら だ の 不 自 由	に 近 所 の 子 ど も が 家 に 遊 び	い る づ い た と き 、 注 意 し て に	悪 い こ と を し て い る の に	そ の 他	わ り は な い 子 ど も た ち と か か
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,748)	64.4 (1,125)	9.0 (158)	2.1 (37)	9.0 (158)	21.2 (370)	1.2 (21)	26.4 (461)	2.6 (45)		
性別											
男性	818	61.1	8.4	1.8	9.2	22.5	1.1	27.8	3.2		
女性	930	67.2	9.6	2.4	8.9	20.0	1.3	25.2	2.0		
性別×年齢別											
男性:20歳代	107	32.7	4.7	0.9	3.7	10.3	0.9	58.9	2.8		
男性:30歳代	130	54.6	8.5	0.8	20.0	17.7	1.5	34.6	2.3		
男性:40歳代	147	63.3	19.0	2.0	15.6	19.7	-	25.9	2.7		
男性:50歳代	141	63.1	6.4	2.1	2.8	23.4	-	24.8	0.7		
男性:60歳代	190	75.3	5.3	1.1	5.3	32.1	1.1	14.2	3.7		
男性:70歳以上	103	67.0	5.8	4.9	7.8	26.2	3.9	18.4	7.8		
女性:20歳代	118	40.7	3.4	0.8	5.1	7.6	2.5	54.2	0.8		
女性:30歳代	146	66.4	12.3	-	16.4	22.6	1.4	26.0	2.7		
女性:40歳代	176	67.6	22.7	2.8	14.2	19.3	-	22.2	0.6		
女性:50歳代	174	74.1	6.3	1.7	5.2	20.7	1.1	20.1	0.6		
女性:60歳代	192	72.4	3.6	3.6	7.3	22.4	2.1	19.8	4.7		
女性:70歳以上	124	75.0	7.3	4.8	4.0	25.0	0.8	16.1	2.4		
ブロック別											
東部A	116	70.7	11.2	0.9	7.8	18.1	1.7	20.7	2.6		
東部B(田主丸)	114	75.4	11.4	0.9	11.4	25.4	1.8	14.9	3.5		
北部A	164	62.2	11.0	0.6	11.0	20.1	1.2	28.7	1.8		
北部B(北野)	120	75.0	10.0	1.7	12.5	22.5	1.7	15.8	3.3		
中央東部	215	54.0	7.0	2.3	6.0	17.2	1.4	35.3	3.3		
南東部	172	66.9	7.6	4.1	10.5	26.7	1.2	24.4	1.2		
中央部	222	62.6	10.4	2.3	8.1	22.1	0.9	27.5	3.2		
中央南部	302	56.6	5.6	2.6	5.3	17.9	1.0	33.1	3.0		
南西部	155	68.4	11.6	3.9	13.5	29.7	0.6	24.5	1.3		
西部A(城島)	75	69.3	8.0	1.3	14.7	21.3	1.3	16.0	4.0		
西部B(三瀬)	93	71.0	10.8	-	6.5	12.9	1.1	26.9	1.1		
子どもの状況別											
世帯の中に就学前の子どもがいる	251	78.5	15.5	2.0	23.9	28.3	1.6	13.9	1.6		
世帯の中に小学生がいる	215	76.3	37.2	1.4	42.3	32.6	1.4	7.0	2.8		
世帯の中に中学生がいる	171	76.6	27.5	0.6	21.1	29.2	1.2	12.3	1.2		
世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	176	69.3	14.2	1.7	10.8	14.8	0.6	22.2	1.7		
18歳未満の子どもはいない	1,159	59.7	4.0	2.3	2.6	19.2	1.1	31.8	3.0		
無回答	15	60.0	6.7	6.7	6.7	33.3	-	26.7	-		

### 5-3 子育て活動への参加

#### (1) 子育て活動への参加意向

「子どもや子育て家庭に対する活動」への参加意向は32.2%。  
就学前の子どもや小学生の子どもがいる世帯で参加意向が高い。

問20 あなたは、今後「子どもたちや子育て家庭に対する活動」に参加したいと思いますか。  
また、現在活動中の方は、今後も活動を続けていきたいと思いますか。(あてはまる番号に  
1つだけ○印)



#### ◆属性別特徴

【性別】男女ともに「ぜひ参加したい」と「できれば参加したい」を合わせた『参加したい』割合は3割を超えており、性別による大きな違いはみられない。

#### 【性別・年齢別】

・『参加したい』が男女ともに30歳代では4割を超えて最も高く、20歳代から40歳代の子育て世代で参加意向が高い。男性も女性も50歳代以上になると参加意向は低くなる傾向がみられ、男性の50歳代では25.5%で最も低い。一方、『参加したいと思わない』は男性50歳代で唯一7割を超えている。

【ブロック別】『参加したい』は北部Aと南東部で4割を超えて高く、西部A、東部A、中央東部で低くなっている。

【子どもの状況別】年齢の低い子どもがいる世帯ほど『参加したい』割合は高く、就学前の子どもがいる世帯では約6割、小学生がいる世帯では約5割が『参加したい』と答えている。18歳未満の子どもがいない世帯では『参加したい』が2割半ばと低い。

	標本数(票)	子育て活動への参加意向 (%)						
		ぜひ参加したい	た で い き れ ば 参 加 し た い	い あ と ま は り 思 わ な い た	た ま い つ と た く 思 わ な い し	無 回 答	『 参 加 し た い 』	『 思 わ な い た い 』
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,748)	3.7 (65)	28.5 (499)	51.7 (904)	11.5 (201)	4.5 (79)	32.2 (564)	63.2 (1,105)
性別								
男性	818	4.0	29.0	50.0	13.0	4.0	33.0	63.0
女性	930	3.4	28.2	53.2	10.2	4.9	31.6	63.4
性別×年齢別								
男性:20歳代	107	5.6	28.0	46.7	16.8	2.8	33.6	63.5
男性:30歳代	130	7.7	33.8	43.1	13.1	2.3	41.5	56.2
男性:40歳代	147	2.7	35.4	46.9	12.9	2.0	38.1	59.8
男性:50歳代	141	2.8	22.7	59.6	12.8	2.1	25.5	72.4
男性:60歳代	190	2.6	27.9	53.7	9.5	6.3	30.5	63.2
男性:70歳以上	103	3.9	25.2	46.6	15.5	8.7	29.1	62.1
女性:20歳代	118	2.5	32.2	51.7	8.5	5.1	34.7	60.2
女性:30歳代	146	6.2	37.0	44.5	9.6	2.7	43.2	54.1
女性:40歳代	176	1.1	34.7	53.4	9.1	1.7	35.8	62.5
女性:50歳代	174	2.9	25.3	59.8	9.8	2.3	28.2	69.6
女性:60歳代	192	5.2	21.4	57.3	8.9	7.3	26.6	66.2
女性:70歳以上	124	2.4	19.4	49.2	16.9	12.1	21.8	66.1

	標本数 (票)	子育て活動への参加意向 (%)							
		ぜひ参加したい	たできれば参加し	いあまりは思わな	たまつとく思わな	無回答	『参加したい』	『思わな』	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,748)	3.7 ( 65)	28.5 ( 499)	51.7 ( 904)	11.5 ( 201)	4.5 ( 79)	32.2 ( 564)	63.2 (1,105)	
ブ ロ ッ ク 別	東部A	116	1.7	23.3	57.8	12.1	5.2	25.0	69.9
	東部B(田主丸)	114	1.8	29.8	55.3	5.3	7.9	31.6	60.6
	北部A	164	6.1	35.4	45.7	11.0	1.8	41.5	56.7
	北部B(北野)	120	5.8	30.8	54.2	8.3	0.8	36.6	62.5
	中央東部	215	0.9	24.2	53.5	15.8	5.6	25.1	69.3
	南東部	172	4.7	36.6	46.5	8.7	3.5	41.3	55.2
	中央部	222	3.6	27.9	52.7	8.6	7.2	31.5	61.3
	中央南部	302	3.3	28.1	53.0	12.3	3.3	31.4	65.3
	南西部	155	7.1	25.8	49.0	12.9	5.2	32.9	61.9
西部A(城島)	75	4.0	17.3	54.7	17.3	6.7	21.3	72.0	
西部B(三瀨)	93	2.2	30.1	48.4	16.1	3.2	32.3	64.5	
子 ど も の 状 況 別	世帯の中に就学前の子どもがいる	251	9.2	49.8	33.9	5.2	2.0	59.0	39.1
	世帯の中に小学生がいる	215	4.2	45.1	40.9	7.0	2.8	49.3	47.9
	世帯の中に中学生がいる	171	3.5	40.4	42.7	11.7	1.8	43.9	54.4
	世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	176	2.8	36.9	44.9	12.5	2.8	39.7	57.4
	18歳未満の子どもはいない	1,159	2.4	21.6	57.0	13.3	5.7	24.0	70.3
無回答	15	13.3	26.7	40.0	20.0	-	40.0	60.0	

### 久留米市が「次世代育成優秀環境賞」を受賞しました

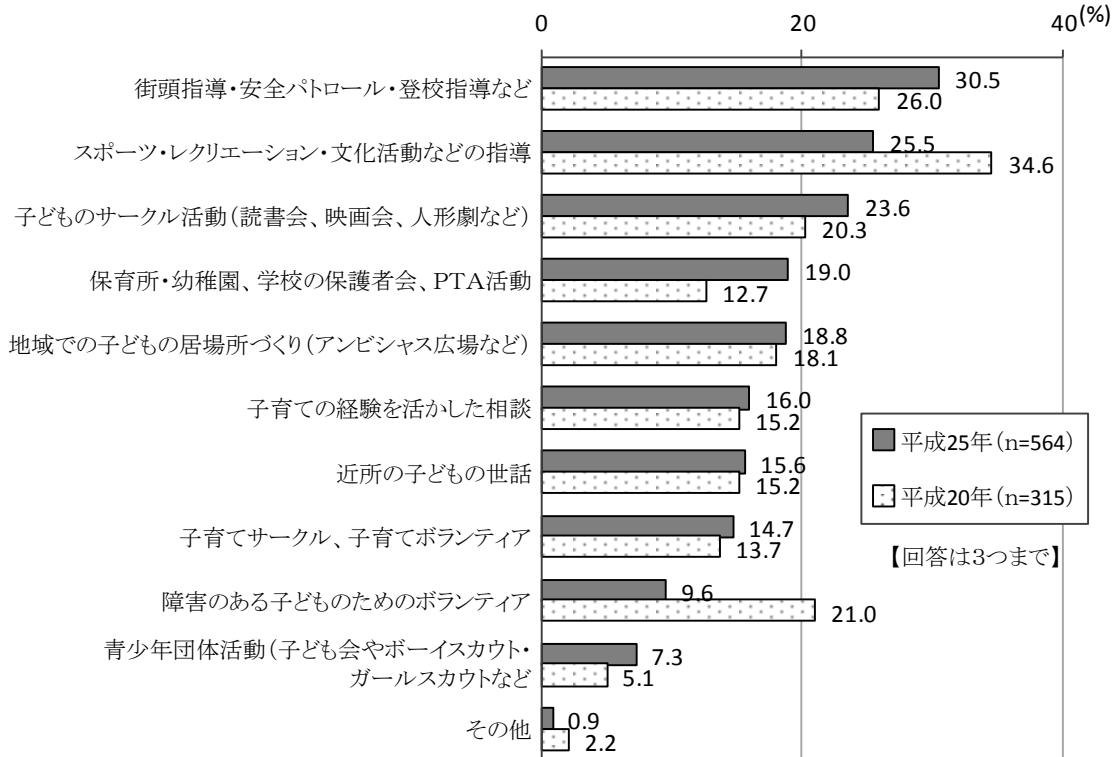
「次世代育成環境ランキング調査」は、男女共同参画社会の形成に関する調査・研究を行っている「特定非営利活動法人エガリテ大手前（東京都杉並区）」が、毎年春に政令指定都市、中核市及び東京23区の次世代育成環境（出産、乳幼児保育、児童福祉、児童養護、児童保育、母子福祉及び小児医療）を独自の基準により分析を行い、ランキングを行っているものです。

第8回（2012年度）調査の結果、評価の高い地方公共団体に授与される「次世代育成優秀環境賞」を久留米市が、新潟市及び新宿区とともに受賞しました。

(2) 参加したい活動

参加したい活動の1位は「街頭指導・安全パトロールなど」。  
「保育所、幼稚園、学校の保護者会、PTA活動」は、前回調査から6.3ポイント増加。

問20付問1 問20で1または2に回答した人に どのような活動に参加したいと思いますか。  
次の中から3つまで(2つ以内でも構いません)選び、番号に○印をつけてください。



◆属性別特徴

【性別】男性は「スポーツ・レクリエーション・文化活動などの指導」「街頭指導・安全パトロール・登校指導など」が女性より高く、女性は「子育てサークル、子育てボランティア」「子育ての経験を活かした相談」「子どものサークル活動」などで男性より割合が高い。

【性別・年齢別】

- ・「街頭指導・安全パトロール・登校指導など」は男性 60 歳代以上で6割を超えて高い。
- ・「子どものサークル活動」「子育てサークル、子育てボランティア」は女性 30 歳代以下の子育て世代で高く、「保育所・幼稚園、学校の保護者会、PTA活動」は女性 30 歳代と 40 歳代、男性 40 歳代でそれぞれ3割を超えている。
- ・「スポーツ・レクリエーション・文化活動などの指導」は男性の 20 歳代から 40 歳代で4割を超えて高くなっており、「子育ての経験を活かした相談」は女性 50 歳代で 38.8%と高くなっている。

【ブロック別】「街頭指導・安全パトロール・登校指導など」は西部A、中央部で、「子どものサークル活動」は北部B、南西部で、「子育ての経験を活かした相談」は西部A、東部Bで、「子育てサークル、子育てボランティア」は中央南部、北部Bで、「障害のある子どものためのボランティア」は中央東部で、それぞれ他の地区と比較して割合が高い。

【子どもの状況別】「近所の子どもの世話」や「子育てサークル、子育てボランティア」は就学前の子どもがいる世帯で、「スポーツ・文化活動などの指導」「青少年団体活動」は小学生がいる世帯で、「街頭指導・安全パトロール・登校指導など」は中学生がいる世帯や 18 歳未満の子どもがいない世帯で高くなっている。

	標本数(票)	参加したい活動 (%)												
		劇(子ども)のサークル活動(読書会、映画会、人形)	近所の子ども世話	指導	スポーツ・文化活動	ガールスカウトなど	青少年団体活動(子ども会やボイスカウト)	場など(アンビシヤス広)	地域の子ども居場所	障害のある子どものため	保護者会、PTA活動	子育てサークル、子育てボランティア	子育ての経験を活かした	街頭指導・安全パトロール・登校指導など
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 ( 564)	23.6 ( 133)	15.6 ( 88)	25.5 ( 144)	7.3 ( 41)	18.8 ( 106)	9.6 ( 54)	19.0 ( 107)	14.7 ( 83)	16.0 ( 90)	30.5 ( 172)	0.9 ( 5)	2.1 ( 12)	
性別														
男性	270	18.1	14.4	35.6	9.3	19.3	8.9	17.4	6.3	8.9	41.1	0.7	2.6	
女性	294	28.6	16.7	16.3	5.4	18.4	10.2	20.4	22.4	22.4	20.7	1.0	1.7	
性別×年齢別														
男性:20歳代	36	27.8	16.7	44.4	5.6	22.2	13.9	16.7	5.6	-	27.8	-	-	
男性:30歳代	54	27.8	9.3	48.1	14.8	11.1	11.1	27.8	18.5	5.6	22.2	1.9	3.7	
男性:40歳代	56	17.9	14.3	41.1	12.5	28.6	8.9	32.1	1.8	10.7	28.6	-	1.8	
男性:50歳代	36	19.4	13.9	30.6	11.1	19.4	8.3	11.1	5.6	5.6	52.8	-	5.6	
男性:60歳代	58	8.6	15.5	24.1	3.4	15.5	6.9	5.2	1.7	12.1	60.3	-	3.4	
男性:70歳以上	30	6.7	20.0	20.0	6.7	20.0	3.3	3.3	3.3	20.0	63.3	3.3	-	
女性:20歳代	41	31.7	24.4	19.5	2.4	24.4	12.2	14.6	31.7	14.6	12.2	-	-	
女性:30歳代	63	44.4	19.0	12.7	7.9	23.8	3.2	38.1	28.6	11.1	14.3	1.6	-	
女性:40歳代	63	20.6	9.5	22.2	7.9	11.1	14.3	33.3	14.3	22.2	17.5	1.6	1.6	
女性:50歳代	49	26.5	18.4	14.3	4.1	16.3	16.3	8.2	24.5	38.8	24.5	-	-	
女性:60歳代	51	25.5	11.8	11.8	2.0	23.5	9.8	7.8	19.6	25.5	33.3	2.0	2.0	
女性:70歳以上	27	14.8	22.2	18.5	7.4	7.4	3.7	3.7	14.8	25.9	25.9	-	11.1	
ブロック別														
東部A	29	24.1	3.4	31.0	10.3	20.7	3.4	20.7	-	6.9	31.0	-	6.9	
東部B(田主丸)	36	27.8	16.7	25.0	-	16.7	5.6	25.0	11.1	27.8	30.6	2.8	2.8	
北部A	68	27.9	16.2	29.4	7.4	22.1	10.3	22.1	14.7	16.2	23.5	-	2.9	
北部B(北野)	44	34.1	20.5	22.7	4.5	15.9	13.6	18.2	20.5	13.6	25.0	-	-	
中央東部	54	20.4	14.8	31.5	5.6	14.8	14.8	14.8	13.0	20.4	22.2	1.9	1.9	
南東部	71	15.5	15.5	32.4	7.0	23.9	12.7	22.5	14.1	15.5	28.2	2.8	-	
中央部	70	22.9	17.1	17.1	11.4	20.0	5.7	17.1	17.1	14.3	41.4	1.4	1.4	
中央南部	95	24.2	18.9	22.1	8.4	14.7	10.5	13.7	21.1	16.8	27.4	-	1.1	
南西部	51	31.4	13.7	23.5	7.8	21.6	5.9	21.6	17.6	11.8	37.3	-	5.9	
西部A(城島)	16	25.0	12.5	6.3	-	18.8	6.3	12.5	-	31.3	56.3	-	-	
西部B(三藩)	30	3.3	10.0	33.3	10.0	16.7	10.0	23.3	6.7	6.7	33.3	-	3.3	
子ども状況別														
世帯の中に就学前の子どもがいる	148	25.7	17.6	23.0	10.8	20.3	4.7	36.5	16.9	12.2	24.3	0.7	2.0	
世帯の中に小学生がいる	106	23.6	12.3	33.0	15.1	17.9	4.7	40.6	5.7	12.3	18.9	0.9	1.9	
世帯の中に中学生がいる	75	17.3	10.7	17.3	9.3	21.3	8.0	38.7	13.3	16.0	32.0	1.3	4.0	
世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	70	25.7	15.7	28.6	5.7	20.0	8.6	24.3	11.4	20.0	20.0	1.4	2.9	
18歳未満の子どもはいない	278	22.7	16.2	24.8	4.0	17.6	13.3	6.1	15.1	17.3	36.7	0.7	1.8	
無回答	6	50.0	50.0	-	-	16.7	-	-	16.7	16.7	33.3	-	16.7	

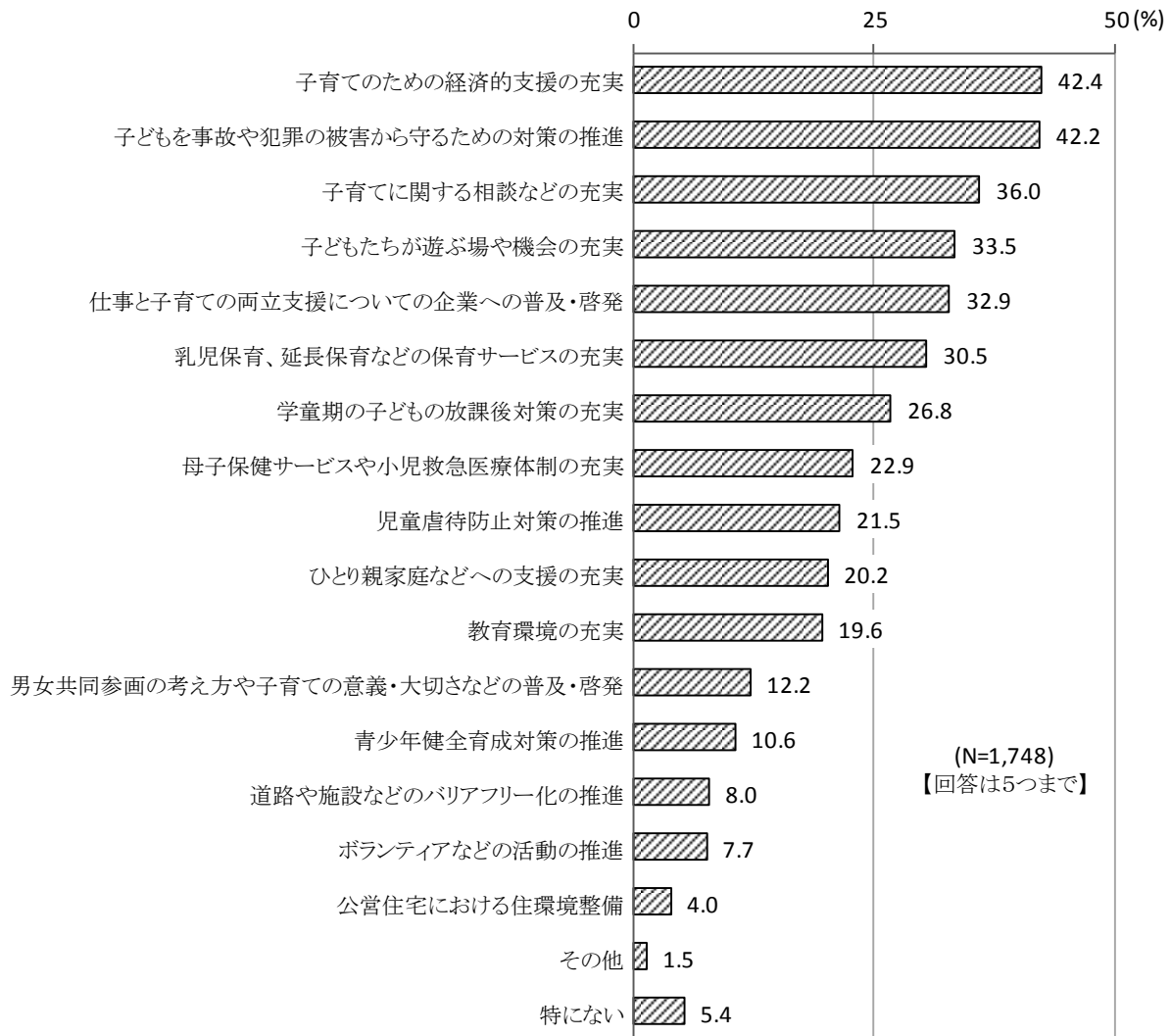




### 5-4 子育てしやすいまちになるための取り組み

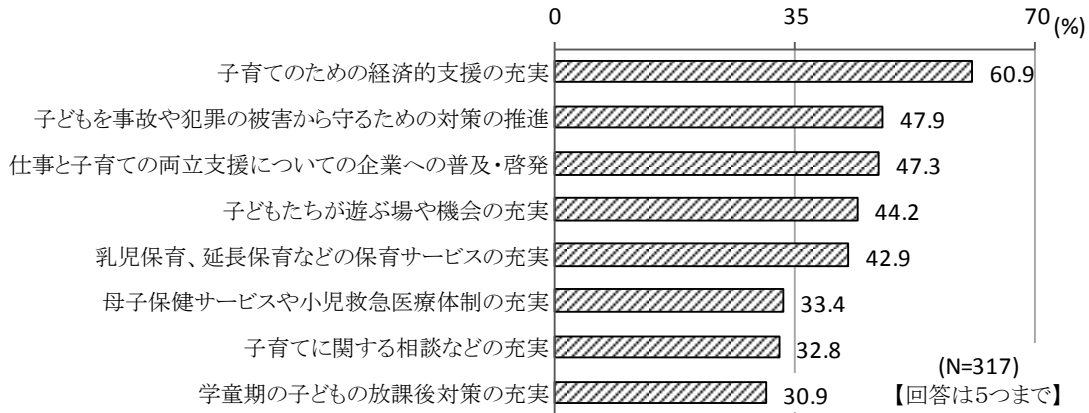
「子育てのための経済的支援の充実」と「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」が4割を超えて高くなっている。

問 21 久留米市が「全国トップクラスの子育てしやすいまち」になるためには、市はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中から5つまで（4つ以内でも構いません）選び、番号に○印をつけてください。



●図5-1 特に力を入れてほしい行政施策で「(17)子育て支援体制の充実」を選んだ人の必要な取り組み(上位8項目)

◇「子育てのための経済的支援の充実」が6割と最も高くなっているが、3位には「仕事と子育ての両立支援についての企業への普及・啓発」があがっている。



◆属性別特徴

【性別】「学童期の子どもの放課後対策の充実」「保育サービスの充実」「子育てに関する相談などの充実」「仕事と子育ての両立支援についての企業への普及・啓発」などは女性の割合が比較的高く、「青少年健全育成対策の推進」では男性がやや高い。

【性別・年齢別】

- ・「子育てのための経済的支援の充実」は、男女ともに20歳代から40歳代で5割前後と高くなっている。また「母子保健サービスや小児救急医療体制の充実」と「保育サービスの充実」は、男女ともに20・30歳代の子育て世代で高くなっている。
- ・「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」は男女ともに30歳代で5割前後と他の年代に比べて高い。「教育環境の充実」は40歳代と50歳代の男女でそれぞれ高くなっている。

【ブロック別】

- ・「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」は東部Aで唯一5割を超えて高い。
- ・「保育サービスの充実」は南東部で、「子どもたちが遊ぶ場や機会の充実」は南西部でそれぞれ約4割となっており他のブロックと比較して最も高い。

【子どもの状況別】「保育サービスの充実」や「仕事と子育ての両立支援についての企業への普及・啓発」は就学前の子どもがいる世帯で、「子育てのための経済的支援の充実」や「学童期の子どもの放課後対策の充実」は小学生以下の子どもがいる世帯で、「子どもたちが遊ぶ場や機会の充実」は小学生・中学生のいる世帯で、「教育環境の充実」は小学生から18歳未満までの子どもがいる世帯でそれぞれ多くあげられている。

【子育てのしやすさ別】

- ・子育てしやすいまちだと思える人は「子育てに関する相談などの充実」や「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」「学童期の子どもの放課後対策の充実」などの割合がそれぞれ思わない人と比較して高い。
- ・子育てしやすいまちだと思わない人は「子育てのための経済的支援の充実」の割合が高い。

【子育て支援体制の満足度別】

- ・満足している人は「子育てに関する相談などの充実」や「児童虐待防止対策の推進」の割合が高い。
- ・不満な人は「子育てのための経済的支援の充実」や「仕事と子育ての両立支援についての企業への普及・啓発」「保育サービスの充実」の割合がそれぞれ高い。



## 考 察 — 子育て環境 —

### ●「全国トップクラスの子育てしやすいまち」を目指している久留米市について、子育てしやすいまちだと7割以上の市民が評価している

久留米市では、次世代育成支援対策推進法に基づく市町村行動計画として、平成22年度から26年度を計画期間とする「くるめ 子ども・子育てプラン（後期計画）」（以下、「後期計画」とする）を策定している。後期計画では、「子どもの笑顔があふれるまちづくり」を基本理念とし、各種関連施策の推進にあたっている。また、平成22年に策定された「市政運営方針【中期ビジョン】」において、重点施策の一つとして「(1) 子育て支援や教育などの人づくり、人権の尊重」を挙げ、「全国トップクラスの子育てしやすいまち」を目指すとしている。

本調査では、「あなたは、久留米市のことを子育てしやすいまちだと思いますか」という設問を設けており、この設問への回答は、市の子育て支援施策に対する市民の評価を示すものと考えることができる。結果としては、7割以上の回答者が『思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計）と回答しており、市の子育て環境を肯定的に捉えている回答者が多数派であった。

また、後期計画では平成26年度までの目標値として、「子育て支援体制の充実市民満足度指数3.50以上」「青少年健全育成市民満足度指数3.00以上」を掲げている。そこで、本調査の指数（第1章参照）を確認すると、子育て支援体制の充実満足度は2.75、青少年健全育成満足度は2.71となっている。目標値には届いていないが、基準値となる平成21年度の数値はそれぞれ2.64、2.51であり、この5年間で満足度はやや上昇している。

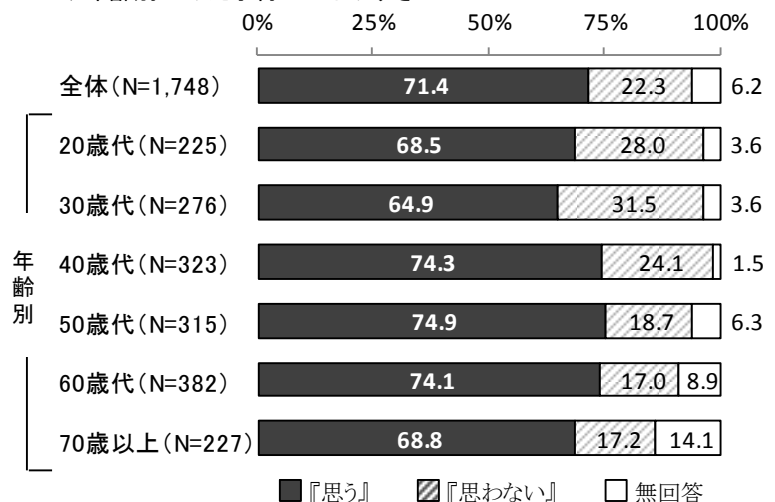
◆「子育て支援体制の充実」「青少年健全育成」の満足度指数

	市民満足度指数		
	平成21年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
子育て支援体制の充実	2.64	2.75	3.50以上
青少年健全育成	2.51	2.71	3.00以上

子育てしやすさへの評価を年代別にみると、20歳代、30歳代で『思う』の割合がやや低く、『思わない』の割合がやや高くなっている。30歳代はちょうど子育て期にあたる人が多い年代であるが、子どもの状況別にみた場合、子どもがいる回答者では子どもの年齢に関わらず7割以上が『思う』と回答している。そのため、20歳代、30歳代での子育て環境への評価が相対的に低いのは、この年代で現在子どもがいない人の評価が低いことが影響していると推測される。

「全国トップクラスの子育てしやすいまち」を目指すにあたっては、現在子どもがいる人たちに向けた施策はもちろんのこと、これから子どもをもちたいと思っている人、子ど

◆年齢別にみた子育てのしやすさ



もをもつ可能性がある人に向けても施策の内容等についてアピールし、久留米市の子育て環境への不安を払拭することも必要だろう。

●子育てしやすいまちだと思ふ理由としては「医療機関が充実」「子育て支援が充実」「自然が豊か」をあげる人が多く、思わない理由としては、「安全に不安がある」「子育て支援が不十分」が多い

「子育てしやすいまちだと思ふ理由」「子育てしやすいまちだと思わない理由」を自由に書いてもらった結果では、子育てしやすいまちだと思ふ理由としては「医療機関が充実している」「子育て支援が充実している」「自然が豊か」「教育環境がよい」「保育所・幼稚園が充実している」などの回答が多い。一方、思わない理由では「安全に不安がある」「子育て支援が不十分」「教育環境が充実していない」「幼稚園・保育園の整備」「公園の整備が不十分」などが多く挙げられている。「子育て支援」「教育環境」「保育園・幼稚園」などは、子育てしやすいと思ふ理由、思わない理由それぞれ

◆子育てしやすいまちだと思ふ理由、思わない理由(上位10項目)

順位	思ふ理由	件数	思わない理由	件数
1	医療機関が充実している	57	安全に不安がある(道路・治安等)	34
2	子育て支援が充実している	41	子育て支援が不十分	21
3	自然が豊か	36	教育環境が充実していない	19
4	教育環境がよい	31	幼稚園、保育園の整備	18
5	保育所・幼稚園が充実している	29	公園の整備が不十分	16
6	住環境がよい	18	子どもが自由に遊べる場がない	12
7	地域の協力がある	17	医療費の負担が多い	11
8	施設が充実している	15	情報発信が不十分	6
9	公園が充実している	12	人間的な触れ合いが少ない	4
10	都会すぎず田舎すぎず	11	交通の便が悪い/地域の支えが不足している	3

を伸ばしつつ、道路の安全や治安といった不安要素に対処していくとともに、子どもの年齢や地域ごとのニーズを理解し、きめ細かな子育て支援を推進することが望まれる。

●「近所の子どもたちとのかかわりはない」市民の割合は減少傾向となっている

近所の子ども達との接し方については、「近所の子どもたちとのかかわりはない」が前回調査より約5ポイント減少し、26.4%となっている。後期計画では、平成26年度までの目標として、前回調査の結果である31.3%からの減少を掲げており、久留米市全体としてはこの目標は達成されたといえる。

ただ、ブロック別にみると、東部B(田主丸)、北部B(北野)、西部A(城島)では「近所の子どもたちとのかかわりはない」は1割台半ばにとどまるものの、中央東部、中央南部では3割を超えており、ブロックごとのばらつきがみられる。今後の子育て活動への参加意向についても、北部A、南東部は『参加したい』(「ぜひ参加したい」「できれば参加したい」の合計)が4割を超えているのに対し、東部A、中央東部、西部A(城島)は2割台と低くなっている。各ブロックの地域コミュニティの特性を把握し、地域の実情に応じた施策を推進することが必要である。

●久留米市が「全国トップクラスの子育てしやすいまち」になるためには、「子育てのための経済的支援の充実」と「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」が求められている

久留米市が「全国トップクラスの子育てしやすいまち」になるために、どのようなことに取り組むべきかと思うかという設問は、子どもの状況や地域ごとのニーズを確認するのに有効である。全体としては、「子育てのための経済的支援の充実」と「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」が特に高く、経済的負担の軽減と、子育てしやすいまちだと思わない理由でも多く挙げられていた安全面への対策が強く望まれている。

子どもの状況別では、就学前の子どもがいる世帯では「乳児保育、延長保育などの保育サービスの充実」や「仕事と子育ての両立支援についての企業への普及・啓発」が、小学生以下の子どもがいる世帯では「子育てのための経済的支援の充実」や「学童期の子どもの放課後対策の充実」が、小学生や中学生がいる世帯では「子どもたちが遊ぶ場や機会の充実」が、小学生から18歳未満までの子どもがいる世帯では「教育環境の充実」がそれぞれ高くなっているなど、子どもの成長に伴ってニーズも変化していることが分かる。

また、小学生以下の子どもがいる世帯では「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」「母子保健サービスや小児救急医療体制の充実」も高くなっており、小さな子どもを持つ世帯では、特に子どもの安全への関心が高い。平成24年に策定された「久留米市定住促進戦略」では、「福岡都市圏や大都市圏へ流出した若者層を、子育て世代でいかに取り戻すことができるか、また、若者層や子育て世代の市外への転出をいかに食い止めることができるかが、より効果的に定住促進を図るうえでのポイントである」としている。久留米市の長所である医療体制のさらなる充実を図るとともに、不安要素とされている安全面での対策を強化することで、小さな子どもをもつ世代、これから子どもをもつ世代の定住化を促す効果が期待できる。

●経済的負担の軽減、両立支援についての啓発、保育サービスの充実等の要望への対応が、「子育て支援体制の充実市民満足度指数」を高めていくことにつながるだろう

問1の「子育て支援体制の充実」への満足度別にみると、『不満』と回答した層では「子育てのための経済的支援の充実」「仕事と子育ての両立支援についての企業への普及・啓発」「乳児保育、延長保育などの保育サービスの充実」などが高い傾向がみられる。また、問2の「特に力を入れてほしい行政施策」で「(17)子育て支援体制の充実」を選んだ人が考える必要な取り組みをみると、「子育てのための経済的支援の充実」が約6割と突出しているほか、「仕事と子育ての両立支援についての企業への普及・啓発」「子どもたちが遊ぶ場や機会の充実」「乳児保育、延長保育などの保育サービスの充実」などが全体の平均よりかなり高くなっている。先述のように、久留米市の「子育て支援体制の充実市民満足度指数」は以前より高まっているものの目標値には届いていないが、経済的負担の軽減、両立支援についての啓発、保育サービスの充実等の要望に対応していくことが、満足度指数を高めていくことにつながるだろう。



◆「子育て支援体制の充実」の満足度別にみた子育てしやすいまちになるための取り組み

	標本数(票)	全国トップクラスの子育てしやすいまちになるために必要な取り組み (%)																			
		子育てに関する相談などの充実	啓発の充実	男女共同参画の考え方や子育ての意義・大切さなどの普及	子育てのための経済的支援	母子保健サービスの充実	児童虐待防止対策の推進	乳児保育、延長保育などの充実	ひとり親家庭などへの支援	推進	ボランテニアなどの活動の充実	学童期の子ども放課後対策	子どもたちが遊ぶ場や機会の充実	教育環境の充実	青少年健全育成対策の推進	仕事と子育ての両立支援についての企業への普及・啓発	備公営住宅における住環境整備	道路や施設などのバリアフリー化の推進	子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進	その他	特にない
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,748)	36.0 (630)	12.2 (213)	<b>42.4</b> (741)	22.9 (400)	21.5 (375)	30.5 (533)	20.2 (353)	7.7 (135)	26.8 (468)	33.5 (586)	19.6 (342)	10.6 (186)	32.9 (575)	4.0 (70)	8.0 (140)	42.2 (737)	1.5 (27)	5.4 (95)	3.0 (52)	
満足 子育て 制度で わか らない の支 無回答	507	42.8	13.4	43.4	21.9	23.7	31.4	18.9	9.7	26.0	33.1	19.7	13.0	28.6	3.7	8.7	<b>43.6</b>	1.6	2.6	2.8	
満足 子育て 制度で わか らない の支 無回答	561	30.8	15.3	<b>51.0</b>	26.7	18.9	34.4	21.0	7.3	29.2	38.7	21.7	11.2	38.7	4.3	9.3	47.4	2.1	2.9	0.9	
満足 子育て 制度で わか らない の支 無回答	609	36.1	8.9	35.8	21.2	21.0	28.4	20.7	6.6	26.1	30.4	18.6	8.2	32.0	3.8	6.1	<b>37.1</b>	0.8	9.7	4.8	
満足 子育て 制度で わか らない の支 無回答	71	28.2	7.0	23.9	14.1	29.6	11.3	18.3	7.0	18.3	22.5	9.9	9.9	25.4	5.6	9.9	<b>33.8</b>	2.8	9.9	5.6	
力点施策で(17)子育て支援体制の充実を選択	317	32.8	10.4	<b>60.9</b>	33.4	17.7	42.9	21.5	4.1	30.9	44.2	23.7	8.2	47.3	3.2	5.0	47.9	1.9	0.9	0.9	